

## 2022（令和4）年度事業計画について

### 1. 2022（令和4）年度事業計画

2022（令和4）年度は、昨年11月の第4回理事会にて承認された第2次中期計画経営改善計画2022（令和4）年度～2026（令和6）年度（5カ年）に基づき、計画を実施する。

### 2. 法人

- （1）経営の安定（大学と専門学校の経営安定と円滑な専門学校廃止手続き）
- （2）管理運営の強化（組織経営基盤とガバナンスの強化）

### 3. 医療創生大学（柏キャンパス）

- （1）教育の質保証（教育課程と学習成果）
- （2）人事計画（教員組織・教員人事計画）
- （3）学生満足度向上（学生支援・就職支援）
- （4）入学定員の確保（学生の受け入れ）
- （5）教育研究環境・施設等整備計画
- （6）社会貢献・研究活動

### 4. 医療創生大学（いわきキャンパス）

- （1）教育改革と質保証（教育課程と学習成果）
- （2）人事計画（教員組織・教員人事計画）
  
- （3）学生満足度向上（学生支援・就職支援）
- （4）入学定員の確保（学生の受け入れ）
- （5）教育研究環境・施設等整備計画
- （6）社会貢献・研究活動
- （7）中期事業計画運営体制

### 5. 専門学校

- （1）学生の確保施策の実施
- （2）国家試験合格率の向上

## 6. 中期計画実施工程表 (2022 (令和4) 年度抜粋版)

医療創生大学 法人部門 中期計画実施工程表

重点課題Ⅰ：経営の安定

重点課題Ⅱ：管理運営の強化

戦略	取組項目	担当部署	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容／数値目標	重点事項	2022(令和4)年度	令和4年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
								目標と実績		
戦略Ⅰ	財務状況	法人	中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる	・前年度の支出を分析し、当年度の支出の抑制を図る	・理事会	経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	◎	(目標) ▲14%		
						人件費比率 (人件費/経常収入)		(目標) 53%		
戦略Ⅱ	管理・運営	法人	主体性を重んじ公共性を高める自律的なガバナンスを確保し、より強固な経営基盤と、時代の変化に対応する大学づくりを進める。	ガバナンスコードの遵守状況を可視化し、運営の適切化を進める。	・理事会	ガバナンスコード チェックリスト点数	◎	(目標) 50点		
								(実績)		

学校法人医療創生大学 柏キャンパス 中期計画実施工程表

重点課題Ⅰ:教育の質保証

重点課題Ⅱ:満足度向上

重点課題Ⅲ:社会的評価の向上

戦略	取組項目	担当部署	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容/数値目標	重点事項	2022(令和4)年度				令和4年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
								4月	7月	10月	1月		
戦略Ⅰ	(1) 教育課程と学修成果	学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家試験合格に向けた学力の担保</li> <li>教育の質を保证する体制(サイクル)の確立</li> <li>学生の国際交流に向けた交流拠点の開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間の各単位において、国家試験対策定期目標指数「成績基準」試験(模試)成績、授業評価の妥当性、学生の学習到達度などを検証し、学修成果を学生が可視化できる取組を目指す。</li> <li>学生の学習到達度の検証や学生の学修成果の結果を受けて、教育支援のための研修会や情報交換会を継続的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副学長</li> <li>学部長</li> <li>教務学生課長</li> </ul>	学修行動調査(授業時間以外の学修時間)	◎	目標:10時間/週以上					
						就職率	◎	目標:					
						国際交流拠点の開拓	◎	目標:					
						留年率	◎	目標:2% 未満					
						国家試験合格率	◎	目標:					
戦略Ⅰ	(3) 研究活動	学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研究費の獲得</li> <li>競争的資金の採択</li> <li>国際関連の大型資金の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請説明会等を実施する。</li> <li>組織的に申請書チェックを行う。</li> <li>研究業績を年度更新しガールンへ保管する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副学長</li> <li>学部長</li> </ul>	外部資金獲得件数	◎	目標:					
						研究業績管理	◎	目標:100%					
						科研費採択率(採択数/申請数)	◎	目標:25% 以上					
戦略Ⅰ	環境・設備計画等研究	教務学生課・総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT技術を活用した授業を実施するための環境を提供する。</li> <li>施設修繕計画に則り教育に支障のない適切な整備を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線LAN等のネットワーク</li> <li>学外接続ネットワーク環境の充実</li> <li>施設・設備の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教務学生課長</li> <li>総務課長</li> </ul>	ネットワーク・無線LANの整備状況に関する満足度調査	◎	目標:70%					
						ICTシステム設備稼働率	◎	目標:					
戦略Ⅱ	(5) 学生支援計画	学部・研究科・教務学生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を活かした環境改善、各種支援の強化等により、学生満足度70%を達成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職協働、学部横断による学生満足度調査の実施</li> <li>検討された支援方策や改善内容について、学生に向けた適切な情報の公表</li> <li>学生の心理面への調査検討、および実施</li> <li>各調査結果に基づく支援の検討、環境改善・教育指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副学長</li> <li>学部長</li> <li>教務学生課長</li> </ul>	学生満足度調査	◎	目標:100%					
						学生ポータルサイトの構築と活用	◎	目標:					
						離籍率	◎	目標:2% 未満					
戦略Ⅲ	(6) 学生支援計画	学部・教務学生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学定員充足率を100%にする。推定的に志願倍率、合格率、歩留率を設定する。今後、18歳人口が減少していくことから、県外からの入学者数を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報用媒体の充実(WEB版のオープンキャンパス等)</li> <li>対面広報(オープンキャンパス、高校ガイダンス、進学ガイダンス、高校訪問、高大連携、中学生向けガイダンス)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学部長</li> <li>教務学生課長</li> </ul>	入学定員充足率	◎	目標:100%					
						志願倍率	◎	目標:2倍					
						合格率	◎	目標:2倍					
						歩留率	◎	目標:					
						県外入学者数	◎	目標:20% 以上					
戦略Ⅲ	(7) 社会貢献	学部・看護キャリア教育研究センター・総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域への専門知識の提供(公開講座や生涯学習を推進)することで学部の認知度を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開講座を毎年開催する</li> <li>生涯学習活動を実施する</li> <li>各種講座の実績管理を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>副学長</li> <li>学部長</li> <li>看護キャリア教育研究センター長</li> <li>総務課</li> </ul>	公開講座参加者満足	◎	目標:					
						公開講座・市民講座・出前講座等	◎	目標:					
戦略Ⅲ	(8) 財務状況	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の支出を分析し、当年度の支出の抑制を図る。</li> <li>補助金の増収を目指し、要件の検証を行う</li> </ul>	理事会	教育活動収支差額比率(教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計)	◎	目標:					
						経常収支差額比率(経常収支差額/経常収入)	◎	目標:					
						事業活動収支差額比率(基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	◎	目標:					
						人件費比率(人件費/経常収入)	◎	目標:					
戦略Ⅲ	(9) 運営管理	総務課・企画課・教務学生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部質保証システムの仕組みの有効性を指標をもとに検証し、向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガバナンスコードの達成状況を年度末に点検する</li> <li>SDを開催する</li> </ul>	全学教育委員会	ガバナンスコードチェックリスト点数	◎	目標:					
						SD参加率	◎	目標:					

医療創生大学いわきキャンパス 中期計画実施工程表

- 重点課題Ⅰ：教育の質保証  
 重点課題Ⅱ：満足度向上  
 重点課題Ⅲ：社会的評価の向上

戦略	取組項目	対応部局	実施目標	実施計画	実施責任者	取組内容／数値目標	重点事項	報告月	2022(令和4)年度		令和4年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画
									目標と実績			
戦略Ⅰ	(1) 教育課程と学修成果	学部 研究科 教務学生課 教務委員会 FD・SD委員会	大学の理念・目的を実現するため、学修成果の可視化を通じてポリシーの評価検証を行う。 質保証サイクルを実質化する	学部、学年、年間の各単位において、「成績基準・試験（模試）成績、授業評価の妥当性、学生の学習到達度」であるティプロマポリシーの達成度を検証し、学修成果を学生が可視化できる取組を目指していくこととする。 達成度評価のに基づき、FD・SD研修を実施し改善に努める。	教務担当副学長	学修行動調査 (授業時間以外の学修時間)		11月 教務委員会	(目標) 11時間以上 78% (実績)			
						就職率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 100% (実績)			
						FDS参加率	◎	翌年度4月 FD・SD委員会	(目標) 100% (実績)			
						留年率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 5.5% (実績)			
						国家試験合格率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 100% (実績)			
戦略Ⅰ	(3) 研究活動	学部	外部研究費の獲得 競争的資金の採択	申請説明会等を実施する。 組織的に申請書チェックを行う。 研究業績を年度更新しガールーンへ保管する。	学部長	外部資金獲得件数		翌年度4月 総務課	(目標) 5件 (実績)			
						研究業績管理		7月 教務学生課	(目標) 100% (実績)			
						科研費採択率 (採択数/申請数)	◎	翌年度4月 総務課	(目標) 15% (実績)			
戦略Ⅰ	(4) 設備・施設等研究	学部 教務学生課 総務課 Dx推進委員会	遠隔講義やICT技術を活用した授業を実施するための環境を提供する。 施設修繕計画を則り、教育に支障のない適切な整備を進める。	無線LAN、建屋間ネットワークおよび学外接続ネットワークの改善を行う 施設・設備の更新及び修繕を行う	Dx推進委員長	ネットワーク・無線LANの利用状況に関する満足度調査	◎	11月 Dx推進委員会	(目標) 65% (実績)			
						ICTシステム設備利用率		11月 Dx推進委員会	(目標) 20% (実績)			
戦略Ⅱ	(5) 学生支援計画	学部 研究科 教務学生課 学生生活委員会	調査結果を活かした環境改善、各種支援の強化等により、学生満足度を70%を達成する	教職協働、学部横断による学生満足度調査内容の見直し 検討された支援方策や改善内容について、学生に向けた適切な情報の公表 学生の心理面への調査検討、および実施 各調査結果に基づく支援の検討、環境改善 教育指導 大学と保護者の情報共有を促進し、学生支援の連携を図るため調査を実施	学生担当副学長	学生満足度調査	◎	11月 学生生活委員会	(目標) 50% (実績)			
						学生パーソナル調査 (仮称)		7月 学生生活委員会	(目標) 調査計画策定 (実績)			
						離籍率	◎	翌年度4月 学部・教務学生課	(目標) 3.5% (実績)			
						保護者満足度調査		11月 教務学生課	(目標) 60% (実績)			
戦略Ⅲ	(6) 学生の受け入れ	学部 研究科 企画課 入試広報委員会	入学定員充足率を100%にする。補佐的に志願倍率、合格率、歩留率を設定する。今後、福島県の18歳人口が減少していくことから、福島県内の入学者数を確保した上で、県外からの入学者数を増やす。	遠隔広報（動画、DM、HP、SNS、WEB版オープンキャンパス） 対面広報（オープンキャンパス、高校ガイダンス、進学ガイダンス、高校訪問、高大連携、中学生向けガイダンス）	学部長	入学定員充足率	◎	翌年度4月 学部・企画課	(目標) 100% (実績)			
						志願倍率		翌年度4月 企画課	(目標) 2.52倍 (実績)			
						合格率		翌年度4月 企画課	(目標) 81.1% (実績)			
						歩留率		翌年度4月 企画課	(目標) 50.5% (実績)			
						県外者入学数		翌年度4月 企画課	(目標) 113人 (実績)			
戦略Ⅲ	(7) 社会貢献	学部 研究科 企画課 教務学生課 健康科学RC運営委員会	地域への知識の提供を目的とし、公開講座や生涯学習を開催することで認知度を向上させる。	公開講座を毎年開催する 各学生の生涯学習活動を実施する 対外活動の管理を行う	健康科学リサーチセンター長	公開講座参加者満足度	◎	1月 健康科学RC運営委員会	(目標) 70% (実績)			
						生涯学習公開講座実施数 (公開講座・市民講座・出前講座等)		翌年度4月 健康科学RC運営委員会	(目標) 15件 (実績)			
戦略Ⅲ	(8) 財務状況	総務課	中期財務工程表をもとに評価し、5年後までに収支均衡させる	支出を分析し、抑制を図る 資金繰り表を作成し支出を管理する	理事会	教育活動収支差額比率 (教育活動資金収支差額/教育活動資金収入計)	◎	翌年度7月 総務課	(目標) ▲15% (実績)			